

i-map インジェクション コントローラーを 取り付ける

YAMAHA JOG-ZR(FI)



i-mapを取り付ける為に工具(電工ペンチ、ニッパー)を用意します。

※純正サービスマニュアルも必ずご用意ください。

電工ペンチについて

オープンパレル端子(ギボシ端子)、裸端子、被服端子等のそれぞれ用の必要な端子がカシメられるものを手に入れないと、せっかく電工ペンチを買ったのに使えないなんて事も起きかねないので工具選びは慎重に!!



作業しやすい平坦な場所にセンタースタンドでたて、フロントカウルを外します。

※作業をはじめる前にメインスイッチがOFFになっているか確認してください。

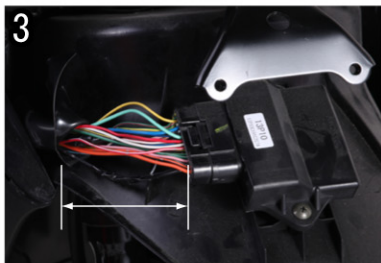
※バッテリーの(-)ターミナルをはずして作業を進め下さい。

※一箇所特殊工具がないと外れないビスで固定してあります。



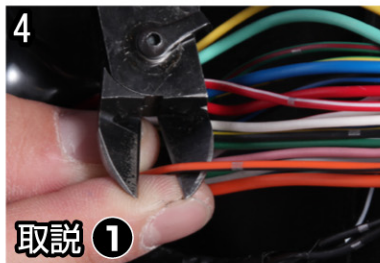
JOG-ZRのECUはココ。

※ECUは車種により様々な場所に固定しています。



純正ハーネスの保護チューブをECUから8~10cmのところまで切り、保護チューブを削除します。

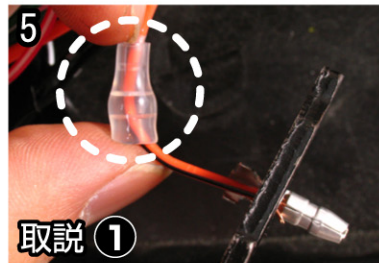
※保護チューブを切る時、リード線も一緒に切らないように注意してください。



取説 ①

純正ECUから出ているの橙/黒※(オレンジリード線に黒ラインの入ったリード線)を切断します。

※取説にあるリード線の色説明で橙/黒と表記していますが、はじめの橙(オレンジ)はオレンジ色のリード線を表し、あとの黒はそのリード線に黒ラインがあることを表示しています。写真のように近くに橙(オレンジ)のリード線があったりします。注意しましょう。

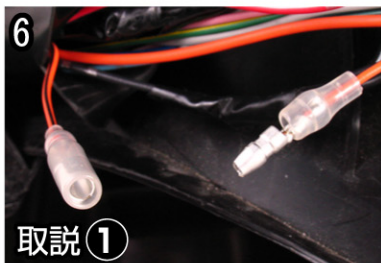


取説 ①

切断した純正ECUから出ているの橙/黒リード線にスリーブを通し、リード線の被覆を剥きオスギボシ端子を電工ペンチで圧着します。

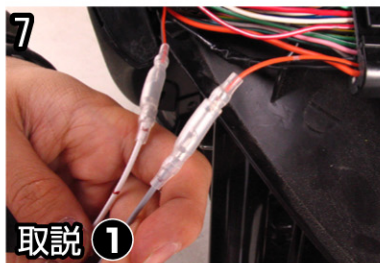
※スリーブは先にリード線に通しておきましょう。オイラはよく忘れてやり直すことがしばしば(´;`)

※リード線の被覆を剥く目安はギボシのカシメ部分の長さ基準に割ってください。



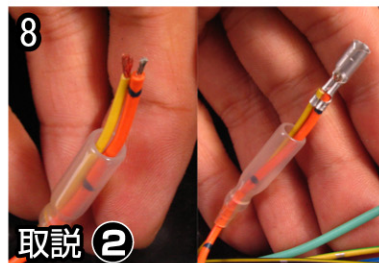
取説 ①

同様に切断した橙/黒リード線にスリーブを通し、リード線の被覆を剥きメスギボシ端子を電工ペンチで圧着します。



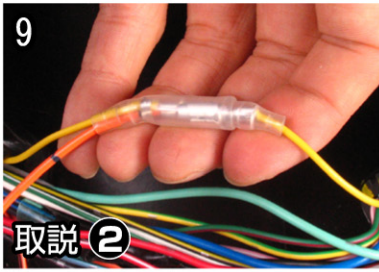
取説 ①

製品付属の白色リード線側にオスギボシ端子と、灰色リード線側にメスギボシ端子を圧着し、写真のように網げます。

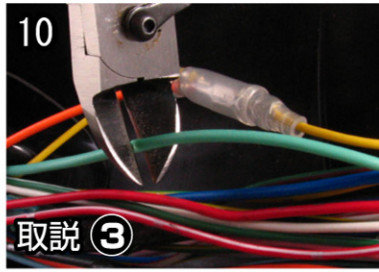


取説 ②

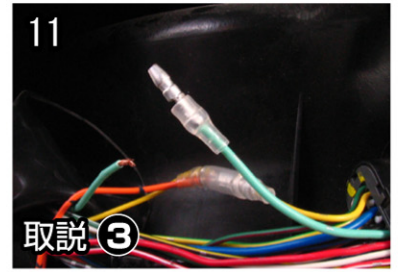
黄色リード線を切断します。ECU側にスリーブ(オス用)を通し、オスギボシ端子を電工ペンチで圧着しておきます。次に、製品付属の橙(オレンジ)リード線と残りの黄色リード線を一緒にスリーブ(メス用)に通し、メスギボシ端子を圧着します。



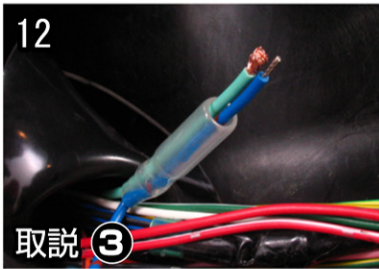
取説 ②
黄色リード線を繋ぎます。



取説 ③
淡緑色リード線を切断します。



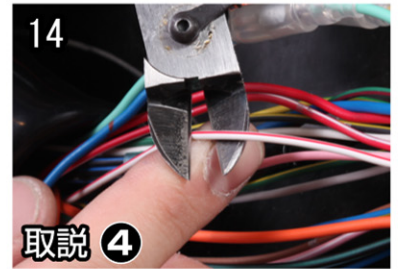
取説 ③
切断した純正 ECU から出ているの淡緑色リード線にスリーブを通し、リード線の被覆を剥きオスギボシ端子を電工ペンチで圧着します。



取説 ③
次に、製品付属の青色リード線と残りの淡緑色リード線を一緒にスリーブ(メス用)に通します。



取説 ③
電工ペンチでメスギボシ端子を圧着し、淡緑リード線を繋ぎます。



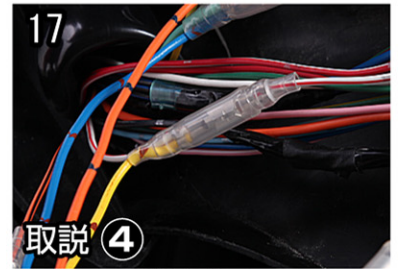
取説 ④
白/赤色リード線を切断します。



取説 ④
次に、製品付属の黄色リード線と残りの白/赤色リード線を一緒にスリーブ(メス用)に通します。



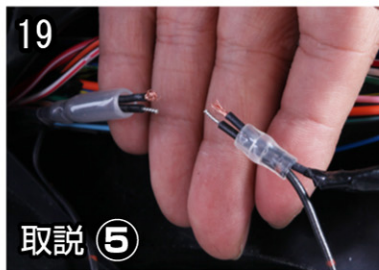
取説 ④
電工ペンチでメスギボシ端子を圧着します。



取説 ④
白/赤色リード線を繋ぎます。



取説 ⑤
黒色リード線を切断します。



取説 ⑤
切断した純正 ECU から出ているの黒色リード線と製品付属の黒色リード線にスリーブ(オス用)を通し、残りの黒色リード線に製品付属の黒色リード線にスリーブ(メス用)に通します。

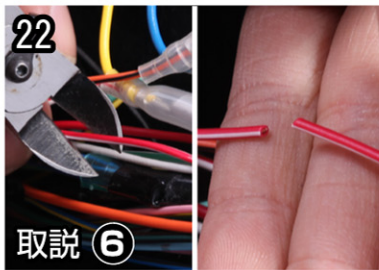
※スリーブは先にリード線に通しておきましょう。



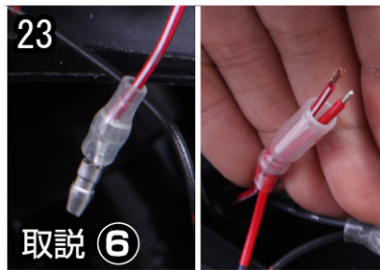
取説 ⑤
ギボシ端子を電工ペンチで圧着します。黒色リード線を繋ぎます。



21 取説5までの作業工程を終え、リード線接続の画。



22 取説 ⑥ いよいよ完成に向けラストスパート。赤/白色リード線を切断します。



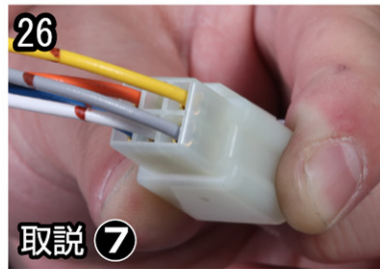
23 取説 ⑥ 切断した純正ECUから出ているの赤/白色リード線にスリーブ(オス用)を通し、リード線の被覆を剥きオスギボシ端子を電工ペンチで圧着します。次に、製品付属の赤色リード線と残りの赤/白色リード線を一緒にスリーブ(メス用)に通します。



24 取説 ⑥ メスギボシ端子と一緒に圧着し、赤/白色リード線を繋ぎます。



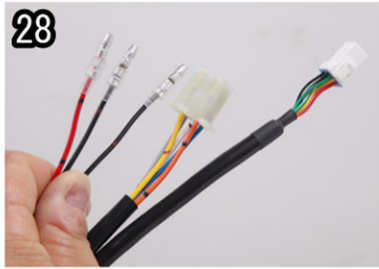
25 取説 ⑦ 取説 ①～⑤ で作業してきたリード線(白/黄/青/橙/灰)の平型端子を、付属の110型6Pカプラー(オス)に取説の図を参考に差し込んでいきます。
※平型端子を、110型6Pカプラー(オス)に差し込む際、端子には抜け防止用ツメ○があり向きがあります。



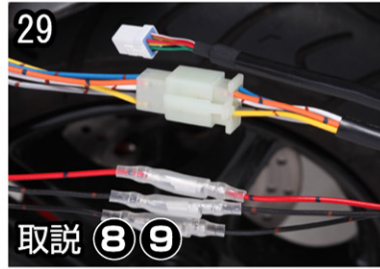
26 取説 ⑦ 差し後はこんな感じですよ。
※差し込むリード線の配置は取説No.2/⑦参照してください。



27 純正ECUから取り出したリード線とカプラーはこのように仕上がります。



28 i-map側の黒色リード線(2本)、赤色リード線にオスギボシ端子を電工ペンチで圧着してください。
※スリーブは先にリード線に通しておきましょう。



29 取説 ⑧⑨ カプラー、ギボシ端子(同色)を繋いで完成。バッテリーを繋ぎ、イグニッションキーをONにする前に、**最終チェック**。配線が間違えていないかもう一度よく確認しましょう。



30 メインスイッチをONにします。
※結線ミス状態でエンジンを始動するとPGM-FI警告灯が点滅するなど、異常検知します。



31 今回i-mapのi-map設定はMap-1を選択。



32 i-map本体は雨水がかからない場所に固定して下さい。
あとは、逆手順で外装を組み付けて下さい。